

各教師の専門性や持ち味を生かした総合的な教育活動の構想・展開

～クラス発カリキュラム・マネジメントの取組～

上越教育大学附属小学校 教頭 青木 弘明

次期学習指導要領改訂において、カリキュラム・マネジメントが重視され、管理職のみならず全ての教職員がその必要性を理解するとともに、学校教育目標の達成に向けて、日々の教育活動についてもカリキュラム・マネジメントを意識しながら取り組む必要があるとしている。しかし、カリキュラム・マネジメントという言葉が小学校学習指導要領の解説編に初めて登場したのが 2008 年の総合的な学習の時間の解説編であり、教員にとって未だなじみが薄い状況である。

当校では学級独自の総合的な教育活動（「総合単元活動」「総合教科活動」現在は「創造活動」）を 50 年以上にわたり展開してきた。これは、教員一人一人が教育課程開発研究の一部分を担い一年間を通して、自身の専門性や問題意識、持ち味といったものを十二分に発揮した活動を子どもと共に展開している仕組みであり、自ら高めたい内容に対して PDCA を中心としたカリキュラム・マネジメントの手法で組織的に研究・開発を図る取り組みを行っていることに他ならない。以下は、今年度の当校「創造活動」における各学級のテーマである。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1年1組 らんらんランド（やぎ4頭） | 1年2組 すくすくぼくじょう（羊4頭） |
| 2年1組 パワフルまきば（ポニー1頭） | 2年2組 ぼかぼかレストラン |
| 3年1組 自遊パーク（高田公園） | 3年2組 山麓 GO！（金谷山麓） |
| 4年1組 郷アクティブ（月影の里） | 4年2組 森めぐり人（森・森林） |
| 5年2組 赤倉 Network（インバウンド） | 5年2組 水辺のアルバム（様々な水辺） |
| 6年1組 道のメッセージ | 6年2組 匠モノがたり |

当校が総合的な教育活動の歩みを年間を通じて掲示する「背面掲示」の特徴とつく方については、全国出版した「関係力～「子どもが生きる学力」への挑戦～」で紹介している。



1年1組 ここにこアルパカぼくじょう



4年2組 竹のおくりもの（2016）

新潟県の上越地区では、伝統的に総合的な教育活動を教育課程の中核に位置づけて取り組んでいる学校が多い。大手町小学校・高志小学校等々総合の先進校が多く存在している。その中でも、毎年研究会を開き、研究や実践の成果を広く公開しているのは当校だけである。また、当校から転勤した職員が各地で生活総合の中核的存在となっている。